

今号の主な記事	
2面	めぐろ歴史資料館これまでの歩み、成年後見制度をご存じですか
3面	地域生活支援拠点の開設、情報ボックスほか
4面	スマートフォン用防災地図アプリ、Jアラート、情報ボックスほか

No.1985

平成30年 (2018年) 3/5  
毎月5・15・25日発行



3月は  
自殺対策強化月間  
です



# めぐろ区報

発行/目黒区 編集/企画経営部広報課 〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15 ☎3715-1111代 ☎5722-8674(広報課) 目黒区ホームページ <http://www.city.meguro.tokyo.jp/>

10周年を迎えます

## 歴史資料館で めぐろを知ろう

地域に根ざした、「人・資料・情報」が集うめぐろ歴史資料館は、20年9月に開館しました。10周年を記念して特別展を開催します。

会場・問い合わせ  
めぐろ歴史資料館  
(中目黒3-6-10、☎3715-3571、☎3715-1325)

開館10周年特別展 4/24(火)～8/26(日)

### 目黒のタケノコ～竹がもたらすもの

住宅地のイメージがある目黒ですが、目黒式タケノコ栽培法の名称がつくほどタケノコの産地として有名で、江戸時代は練馬のダイコン、江戸川のコマツナなどと並び称され、昭和の初め頃までタケノコ栽培が行われていました。

特別展では、目黒のタケノコ栽培の特徴や歴史の変遷と、建築材料から箸などの日用品に至るまで、竹製品などが竹文化といわれるほど私たちの暮らしに欠かせないものになっていることを紹介します。



▲タケノコとスズメ(碑文谷彫)

開館時間 9:30～17:00  
休館日 月曜日(祝・休日の場合は翌日休館)  
入館料 無料

展示内容  
●目黒式タケノコ栽培法の特徴・歴史・道具ほか  
●暮らしに根付いたタケノコ・竹・竹製品ほか

#### 関連イベント 竹のおもちゃで遊ぼう!

竹林が今も残るすすめのお宿緑地公園内にある古民家(歴史資料館分館)で、竹のおもちゃで遊ぶイベントを、5月上旬(予定)に開催します。詳細は4月頃の区報でお知らせします。



昭和3年頃の碑文谷の竹林

### 目黒と竹・タケノコ 今昔

目黒不動尊の門前では名物としてタケノコ飯が参詣客に人気があり、柿の木坂界隈では竹細工の店もありました。竹材は羽田沖でのり養殖に使われていました。



▲江戸時代からの旧家に伝わる吊り下げ部分が竹製のかご

関東大震災後、目黒は宅地化が進み、鉄道の開通は人口の流入に拍車をかけ、竹林はほとんどなくなりました。現在は、すすめのお宿緑地公園や、屋敷林の一部に竹林がわずかに残る程度ですが、かつてタケノコを栽培していた農家では、目黒式タケノコ栽培法を復活させる試みが始まりました。



▲昭和初め頃の目黒不動尊門前の茶店。看板には「名物竹の子飯」と書いてあります

2面もご覧ください

を願います。

今月3日は、桃の節句でした。ひな人形を見ながら、ちらし寿司にハマグリのお吸い物で、ひな祭りのお祝いをしたご家庭も多いのではないのでしょうか。まだ寒く感じる日もありますが、冬眠していた生き物もそろそろ目を覚ます季節です。私も苦手な花粉が本格的に飛ぶようになりま

す。健康管理には十分注意してください。▼9日から、平昌2018冬季パラリンピック競技大会が開催されます。パラアイスホッケー男子日本代表として、区内在住の堀江航選手が出場します。激励会では、母校の第十一中学校生徒から心の込められた寄せ書きが贈られました。大会での素晴らしいパフォーマンスを期待するとともに、堀江選手の活躍を目黒の子と私たちと一緒に心から応援しております。▼間もなく東日本大震災から7年がたちます。区は現在も、友好都市である気仙沼市に、職員を長期にわたり派遣し、復興へのお手伝いをしていきます。被災地の日も早い復興・創生を願いながら、今後も支援を続けていきたいと考えております。甚大な被害から学んだ教訓を忘れず、日頃からご家庭での対策

目黒区長 青木 英二